

朱七だより

令和6年度第1回
学校評価臨時号

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai7-s/>

7月に行いました学校評価アンケートに、多数ご協力をいただき、ありがとうございました。

保護者の皆様からたくさんの回答をいただきました。この学校評価臨時号では、保護者アンケートに加え、児童のアンケート、教職員の自己評価の結果を合わせてお知らせします。この結果をもとに、学校・家庭・地域が今まで以上に連携しながら、さらに子どもたちを育む今後の学校づくりに生かしていきたいと思っております。

たくさんのご回答ありがとうございました

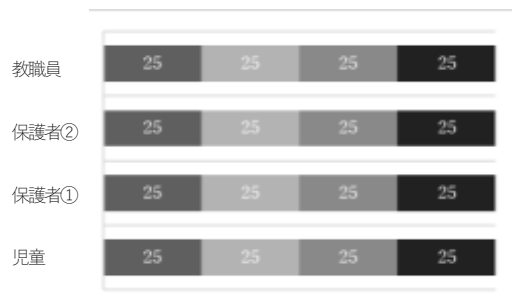
今回は、児童アンケート、保護者アンケート、教職員アンケートそれぞれの質問項目の関連性を考慮し、児童の自己評価から見られる様子に対して家庭と学校がどのように感じており、どのように関わっていくとよいかについて分析いたしました。例えば、児童への質問「先生や友達のことをよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。」に対し、保護者アンケートでは、家庭でとらえている児童の様子について、「子どもは、先生や友達のことをよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。」と、家庭での児童との関わりについて「家庭では、子どもの話をしっかりと聞いている。」とを対応させています。また、教職員アンケートでは、学校での取組を通した児童の変容について「子どもは、先生や友達のことを集中して聞き、自分の考えをしっかりと話している。」という質問に関連付けています。それぞれの質問について、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的な意見として捉え、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を改善が必要な点として見つめ、今後の教育活動をよりよくしていくための指標としています。

また、それぞれの質問内容を、学校全般について、学校教育目標の中の「目指す子ども像」である『「学び続ける子」～学ぶことのよさを追い求める子～』『「学び合える子」～互いに認め合い、共に高め合う子～』『「学びを生かせる子」～自分の未来を切り拓く子～』の3つについて、児童の自己評価・教職員評価・保護者評価を合わせて分析した結果をお届けします。

グラフの見かた

○下段より児童アンケート、保護者アンケート①(児童の様子)、
保護者アンケート②(家庭での取組)、教職員アンケート

○色分け左より「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」
「あまりあてはまらない」「あてはまらない」

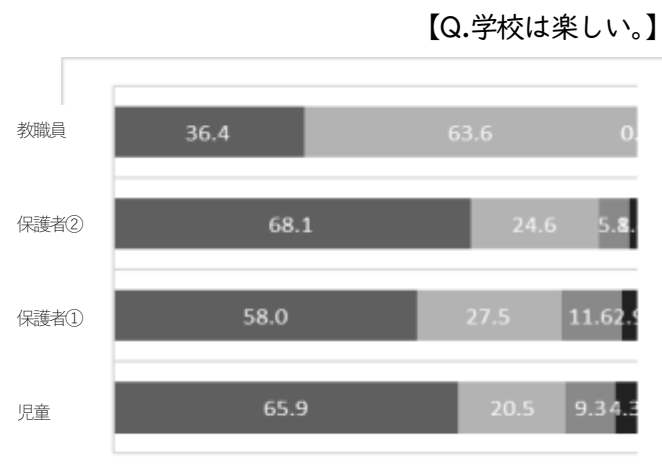


学校生活全般について

毎日が「楽しい」学校を目指して

86%の児童が学校を楽しんでいると感じています。ご家庭でも、日頃から学校での学習の様子や生活の様子についてお子さまとお話いただき、共感したり励ましたり相談にのったりと寄り添っていただいていることがうかがえます。ありがとうございます。

一方で、14%の児童が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答しています。日常生活には楽しいことがたくさんありますが、学校でしか味わえない貴重な経験や学びもたくさんあると考えています。朱雀第七小学校の児童全員が「今日一日楽しかった」という充実感、「早く学校に行きたいな」という期待感を感じられるように、日々わくわくするような授業づくりと友達との温かい関わりを大切にしたい学校づくりに励みたいと思います。2学期は山の家宿泊学習やスポーツフェスティバル、学習発表会などの大きな行事もあります。行事を通して得られる成長や達成感を子どもたちと共に味わい、自己肯定感や自己有用感を高めながら毎日楽しいと感じられる学校生活を作り上げていきたいと思っています。

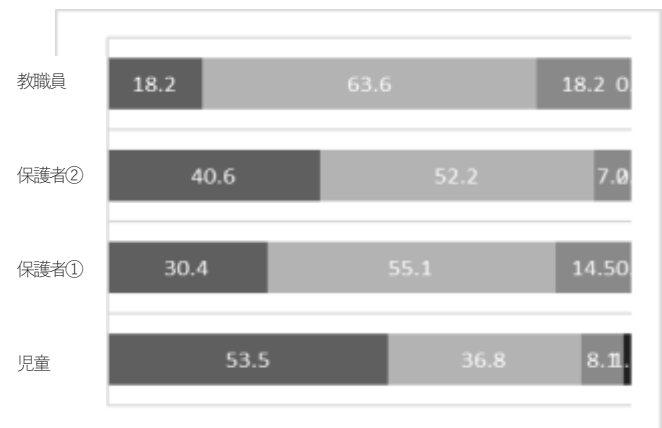


時間を大切にすることでより充実した毎日を！

【Q.時間を守って活動することができている。】

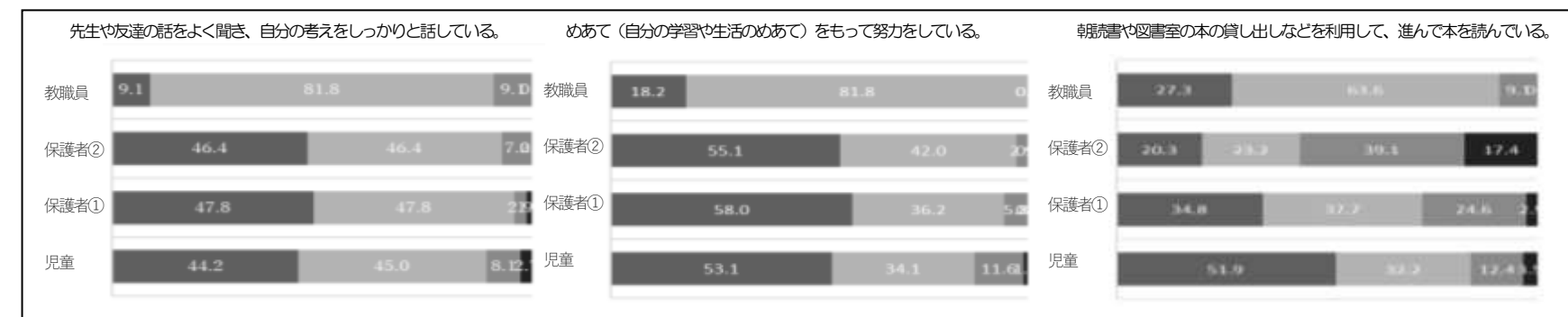
90%を超える児童が「時間を守って活動することができている」と肯定的な回答をしています。集団で生活をする小学校においては、時間を守って行動することが自分も友達も大切にすることにつながります。

まず、時間に余裕があると焦らずに落ち着いて行動することができ、気持ちにゆとりがあることで、友達にやさしい声かけができたり、学習にじっくりと集中して取り組んだり、安全に気をつけて行動したりすることができます。また、事前に立てた学習や遊びの計画をスムーズに進めることができ、想定以上の効果が期待できます。子どもたちが穏やかな日常生活を送ることができている背景には、この「時間を守る」という意識があるからだと考えられます。今後も引き続き時間を大切に行動し、気持ちをうまく切り替えながら学習も遊びも思いきり楽しめるようサポートしていきたいと思っています。



「めざす子ども像」にてらして

「学び続ける子」～学ぶことのよさを追い求める子～

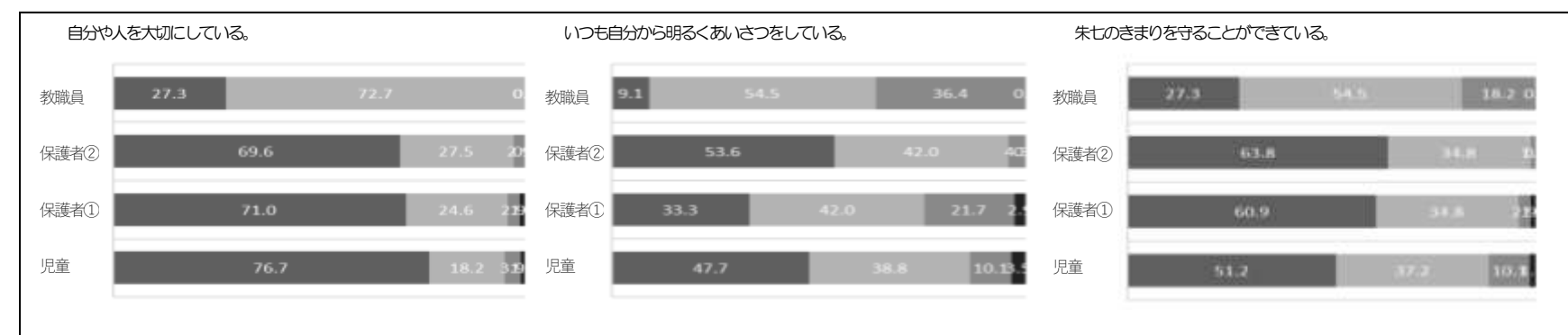


学校教育目標「自ら学びに向かい、共に高め合い、未来を拓く子どもの育成～自分のよさに自信をもち、仲間とのつながりを大切にして、夢に向かう姿を求めて～」のめざす子ども像として、「学び続ける子」「学び合える子」「学びを生かせる子」を掲げています。この視点から、今回の児童・保護者・教職員のアンケートの結果を並べて分析してみました。

多くの児童が「話をよく聞き、考えをしっかりと話している」「めあてをもって努力をしている」と答えています。めあてとふり返りを大切にした授業づくりを大切にしていますので、一定の成果が表れていると感じています。めあてをもつことで学習内容をより深く理解しようという意欲が高まり、結果として学習の質が向上します。また、めあてを達成することで成功体験を積むことができ、自己効力感が高まり、次のめあて設定や挑戦意欲につながります。今後さらに充実させていきたいです。

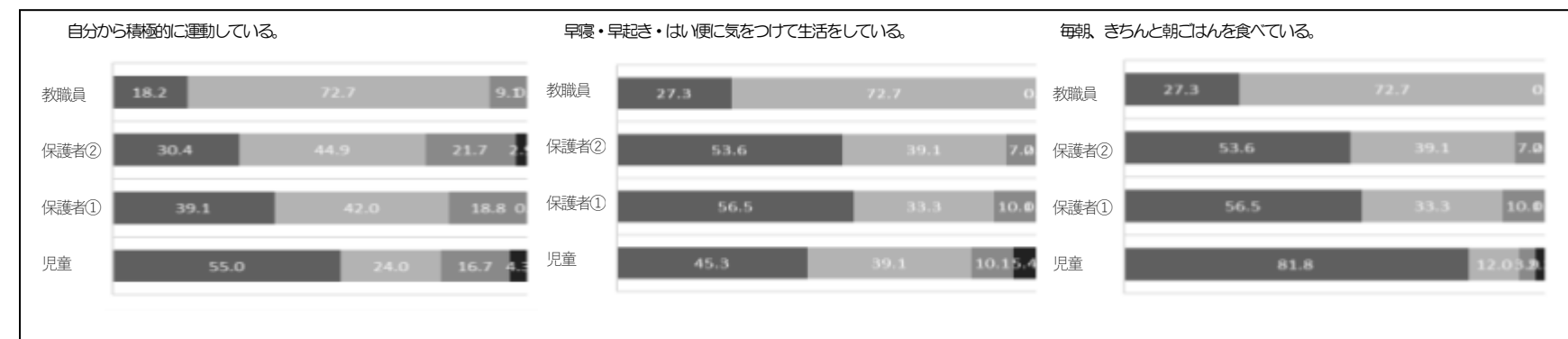
読書の取組に関しては、個人差が見られます。想像力を育み、心を豊かにし、語彙力の向上にもつながる読書に一層親しんでいけるように取り組んでいこうと思います。ご家庭でも読書の時間を積極的に取り入れていただければと思います。よろしくお願いいたします。

「学び合える子」～互いに認め合い、共に高め合う子～



95%の児童が「自分や人を大切にしている」と答えています。自分や人を大切にすることは幸せな毎日を送るための基本であり、互いの思いや考えを尊重し理解し合うことがより充実した日々を送ることにつながります。学校では、道徳の授業や「こころの日」を中心に、人権意識や規範意識を育むことに努めています。自分の強みや弱み、感情や価値観を理解して自分自身を受け入れるとともに、他者の感情や立場を理解して共感し、感謝の気持ちを大切にすることで良好な人間関係を構築していけるようにしたいと思います。ご家庭でも、あいさつやきまりを守ることの大切さ、自他を尊重することの尊さについてお話しいただきながら子どもたちを支えていただきありがとうございます。今後も学校とご家庭との連携を図りながら、児童一人一人の思いに寄り添い、6年間を通して思いやりのある子を育てていきたいと思っています。

「学びを生かせる子」～自分の未来を切り拓く子～



12月には後期学校評価アンケートを予定しております。今回のアンケート結果を踏まえ、子どもたちの学校での様子、ご家庭での関わりについてご回答いただけると幸いです。ご協力ありがとうございました。

児童の回答から、多くの児童が早寝早起きや朝ごはん等の生活習慣を身につけていることが確認できました。健康な毎日を送るためには規則正しい生活習慣が欠かせません。ご家庭でしっかりと支えていただいていることで、元気で生き生きとした毎日を送ることができています。ありがとうございます。

運動に関しては、積極的に運動に親しんでいる児童とそうでない児童とのばらつきが見られます。健康的な生活を送るためには、運動も重要な要素のひとつです。近年、児童の体力や運動能力の低下が言われています。健やかな体の育成が目指せるよう声をかけていきたいと思います。学校では、全市で競う「スポーツチャレンジ大会」に挑戦したり、友達とドッジボールや鬼ごっこなどを楽しんだりする姿が見られます。教職員も一緒に楽しむことで、さらに拡充させていきたいと思います。ご家庭におかれましても、家族で散歩をしたり週末にスポーツを楽しんだり、ぜひ積極的に体を動かす時間を設けていただければ幸いです。